

## From Ibigawa S A B O

列島の太平洋側を沿うように進んだ台風8号と、それに伴い活発化した梅雨前線は、各地に大雨をもたらし、土砂災害や河川の氾濫、突風による被害など、各地に無残な爪痕を残しました。中でも、長野県木曾郡南木曾町の梨子沢で発生した土石流では、一家4人が巻き込まれ、その内中学生1人が亡くなるという痛ましい災害となりました。犠牲となられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

### 管内では避難指示・避難勧告が発令

管内では、本巢市根尾上大須(ねおかみおおす)地先の上大須観測所(木曾川上流河川事務所所管)で、10日7時~8時の時間雨量が64mmに達し、また、揖斐川町東津汲(ひがしつくみ)地先の久瀬(くぜ)観測所(揖斐土木事務所所管)でも、10日15時~16時の時間雨量が64mmに達する、非常に激しい雨が降りました。この大雨の影響により、本巢市は県道の複数の箇所です砂が流出し、集落が孤立する恐れがあるとして、同市根尾地区の松田(まつだ)、東小鹿(ひがしおじか)などの5集落56世帯76人に避難指示が発令されました。また、揖斐川町も土砂災害の恐れが高まっているとして同町乙原(おとはら)集落の38世帯108人に避難勧告が発令されました。

### 南木曾町の災害に事務所職員を派遣

7月9日17時40分頃、長野県木曾郡南木曾町の梨子沢(なしざわ)で土石流が発生し、下流の住宅や交通網に甚大な被害をもたらしました。この状況に対し、当事務所からも白木調査課長と川島工務係長が災害派遣要員として、9日の深夜より多治見砂防国道事務所の災害対策本部および南木曾町の被災現場へ派遣されました。派遣中は災害申請資料作成、被害状況調査、応急復旧作業指導等を行い、11日の20時30分に事務所へ帰着しました。

被災状況、対応状況の詳細は[ココ](#)をクリック(中部地方整備局のHPへリンク)

### 幸いにも大きな被害は免れる

台風8号の接近に伴い、事務所では災害対策支部を立ち上げて、情報を収集するなどの対応を行ってきました。

管内では、県道等への土砂流出や冠水により、通行止めになるなどの影響を受けましたが、幸いにも大きな被害を受けることはありませんでした。



土石流の一部を捕捉した  
梨子沢第2砂防堰堤



被害状況調査を行う  
国土交通省職員



県道神原西津汲線での  
土砂撤去状況



林道内谷線への  
土砂流出状況



流された巨大な岩が橋の上に



JR中央本線の被害状況

### 仮締め切りが一部被災 = 大蔵谷 =

工事現場の対応としては、台風8号の接近に伴い、土石流や洪水の発生に警戒するため、建設資機材等の高台への移動や、突風による工事看板等の飛散防止のための固定や撤去・保管などの対策を施し、台風の襲来に備えました。

揖斐川町檜原(かしはら)地先の大蔵谷(おぞうだに)第1砂防堰堤工事(施工:西濃建設(株))の現場では、現場観測で10

日14時~15時の時間最大雨量が、54mmに達する非常に激しい雨に見舞われ、この大雨により大蔵谷の水位が上昇し、仮締め切りのために設置した大型土のうが、一部流出するなどの被害が発生しましたが、全体的には大きな被害を受けることはありませんでした。



大蔵谷の洪水の状況  
(7月10日18時頃撮影)

### 夏休みだ！ 楽しい思い出を作ろう！ ~川の安全利用についてのお願い~

待ちに待った夏休みが始まりました。川は自然豊かでも楽しいところです。でも、川には流れが複雑なところや急に深くなっているなど、危険なところもあります。特に堰堤の下流側では、ぐるぐる回るような流れが発生している場合があります、この流れに飲み込まれると脱出できなくなることがあります。また、川の上流や近くで雨が降ると、川の水が急に増えて川の中に取り残されてしまったり流されてしまうなど、恐ろしい姿に変わることもあります。天気や川の流れに十分注意して楽しく川を利用し、楽しい思い出をいっぱい作る夏休みにしてください。

河川の安全利用についての詳細は[ココ](#)をクリック(中部地整のHPへリンク)

## 子ども達の総合学習に協力します

揖斐川町校長会が7月11日に揖斐川町役場内で開かれました。議事の中で、当事務所及び中部建設青年会議岐阜支部から、当方の広報活動の取組として、防災に関する学習会や現場見学会を実施している事をお伝えしました。当事務所からは岩男事務所長が出席して、「小学校・中学校の総合学習に積極的に協力させていただきます。」と呼びかけをさせていただきました。校長会の日程は事前に予定されていましたが、偶然にも7月10日に揖斐川町に土砂災害警戒情報が出された翌日となったため、時機に合った呼びかけになりました。



校長会の様子

## 揖斐校生のインターンシップを受け入れ

7月15・16日に(社)揖斐建設業協会が、地元の県立揖斐高等学校普通科2年生のインターンシップを受け入れ、当事務所が発注する工事などを見学されました。

今回受け入れを行ったのは、西濃建設(株)が3名と西建産業(株)が2名で、各社が実施する工事現場や、各社の生コン・アスファルトプラントなどの見学及び供試体の作成から各種試験の体験、現場等においてバックホウやタイヤローラーなどの建設機械等の体験乗車などが行われました。

建設業界の若手技術者が増えるような取り組みについて、当事務所としても行ったり支援したりして行きます。



工事現場の見学  
(地谷第2砂防堰堤工事)

## 横山ダム完成50周年を祝う

今年には揖斐川上流の横山ダムが完成して50年の節目の年であり、横山ダムでは記念行事が7月19日から行われています。横山ダムは主に洪水調節を目的とした国土交通省直轄のダムであり、洪水調節のための総貯水量を維持するため、当事務所の砂防堰堤の内、横山ダムの上流に設置する堰堤は、横山ダムへ流入する土砂の量を軽減させることも目的の一つとなっています。

19日には横山ダムにて記念式典が行われ、記念行事実行委員会のメンバーでもある岩男事務所長が出席しました。

8月上旬からは揖斐川交流イベントとして、当事務所の施工区域でもある揖斐川上流域でスタンプラリーが行われる予定です。お近くへお越しの際はぜひご参加ください。

横山ダム50周年記念行事の詳細は[ココ](#)をクリック(記念事業のHPへリンク)



記念式典のオープニングでは  
地元の園児達が演奏

## 砂防ボランティア協会と協働で施設点検

砂防施設の中には良好な景観を有する場もあり、野外活動の場として利用したりする方などが訪れるため、定期的に施設の安全利用点検を行っています。7月16日と17日は、越美山系砂防ボランティア協会の方々と協働で点検を実施しました。

協会員の中には、以前に当事務所で勤務していた方もいらっしゃいます。過去の豊富な経験を積んだ目線での点検や、また施設に触れながら建設当時の様子についての話も聞け、点検を完了すると共に、今後に生かせる知識を得る事ができました。



下辻谷第2砂防堰堤の点検



鷲津谷第1砂防堰堤の点検

## 〇打設が順調に進む = 岡谷堰堤 =

本巣市根尾大河原(ねおおがわら)地先で工事を行う、大河原岡谷(おかたに)第1砂防堰堤副堤工事(施工:株所組)では、現在、主堰堤のコンクリート打設が最盛期を迎えています。

また、7月14日には、本巣市の「広報もとす」において9月に土砂災害の特集記事を掲載するため、本工事現場での施工状況などの取材を受けました。



本巣市の取材風景

## ジャングルジム? = 八草川 =

揖斐川町坂内川上(さかうちかわかみ)地先で工事を行う、八草川(はっそうがわ)山腹工事(施工:株久保田工務店)では、現在、法面の安定化を図るため鉄筋挿入工を施工中です。施工ヤードを確保するため、急峻な法面に単管足場を組立て作業を行っています。下から見上げると長大なジャングルジムのようです。



ジャングルジムのような足場



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。  
また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしております。

発行 国土交通省中部地方整備局  
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所  
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3  
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626  
E-mail: [ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp](mailto:ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp)